



<https://mushinosato.jp/>



新幹線ご利用の場合
東北新幹線「新白河駅」より車で約60分

東京駅 東北新幹線 新白河駅 自動車 矢祭町
約90分 約60分

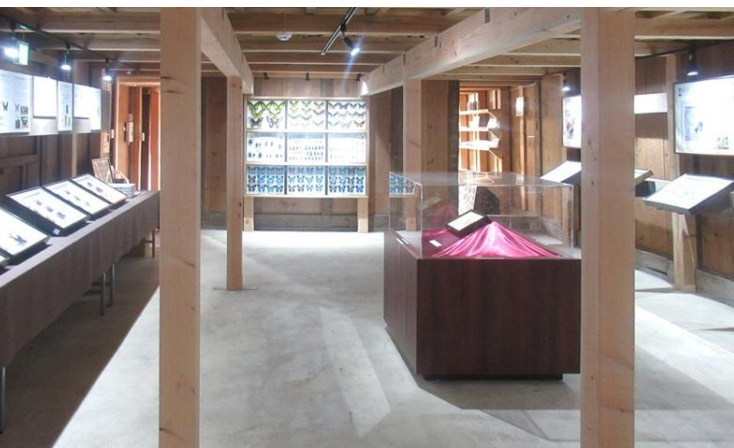
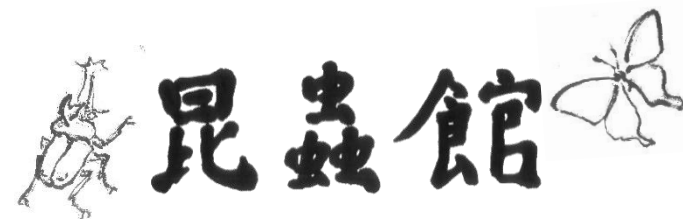
水郡線ご利用の場合
常磐線「水戸駅」より水郡線で約100分

東京駅 常磐線特急 水戸駅 水郡線 東館駅
約75分 約100分

全線開通90周年を迎えたローカル線での楽しい旅を満喫してください



捕まえて 触って 遊んで 学べる
「昆虫の楽園」



MAP

昆虫館 駐車場

Google

キーボードショートカット・地図データ ©2026 利用規約 地図の誤りを報告する



場所：福島県東白川郡矢祭町大字小田川字弥三郎内 2
開館：毎日曜日・祝祭日、午前 10 時～午後 4 時
入館料（入館時支援金）：500 円（中学生以下無料）、
駐車場あり

運営：一般社団法人虫の里・福島奥久慈昆虫館／株式会社むしの里
協賛：一般社団法人ニワトコ、株式会社押田製材所、ケーアイ企画、昆虫文献六本脚
後援：日本蝶類学会、日本蛾類学会、日本オマーンクラブ、JPS 昆虫切手研究会、グループ多摩虫、千葉昆虫昆虫談話会、八溝マテリアル株式会社、株式会社ホンダカーズ東白川



ご挨拶



奥本大三郎名誉館長

●「ファール昆虫記」の翻訳者として、また数々の昆虫関係の著者で知られるフランス文学者の奥本大三郎氏からは、当プロジェクトの初期段階から多大なご支援を賜っておりまして、開館にあたり当館の名誉館長に就任していただきました。●また当館の館名の揮毫をしていただき、昆虫館の土蔵の白壁にその書と虫の絵を掲げました。一般には「虫」と書きますが、正式には「蟲」と書き、「昆虫館」と書いていただきました。正統派を目指す当館にふさわしいその文字を当館の象徴としたいと思います。



一般社団法人 虫の里・福島奥久慈 昆虫館

イピタスタイマイ (絶滅種)

Eurytides (Eurytides) iphitas

世界屈指の稀種アゲハの一つとして、南米特産のイピタスタイマイがあげられます。本種は1937年を最後に絶滅したと言われ、この標本は91年前の1935年2月の採集体です。現在、世界に現存する標本は10数頭のみと言われており、世界の著名博物館でも展示されておらず、公開展示は世界で当館の1頭のみと思われま



見どころ

1

フトオアゲハ♀

Papilio (Aeghena) maraho

本種は初夏に台湾中部の丘陵地帯の川沿いに見られる稀少種で、その名の通り後翅の尾状突起が異様に太く、艶やかな深紅の紋様はコレクターを魅了し、特に当館に展示する♀は大変美麗で貴重標本です。昨今の地球温暖化の影響で個体数が激減し、国指定の保護種となり、昔の標本の入手すら期待できないのが現状です。



2025年春の開館を記念してフレーム切手4種を発行しました。それぞれが矢祭の当館にふさわしいチョウたちです●南米のイピタスタイマイの仲間の標本●近年矢祭町で増えてきた南方系種のモンキアゲハの各地の標本●近年八溝山から矢祭町に分布が広がってきたウスバシロチョウの地域変異を示す標本●福島県会津地方で絶滅したフタスジチョウの特異な個体群の貴重な標本。

見どころ

2



中江信館長が2021年に上梓した「世界のアゲハチョウ図説」の誕生にまつわる数々の秘話を紹介します。図説を開いた頁の上に、図説に使った実物標本を刺して立体図説として展示をし、印刷図版と実物標本の微妙な違いも見ものです。

見どころ

3



見どころ

4

2025年春の開館を記念して矢祭郵便局の記念小型印が作られ、全国の小型印マニアに矢祭局と昆虫館を知っていただけることとなりました。昆虫切手コーナーは定期的にテーマを変えて展示しますので、小さな芸術品の世界をお楽しみください。



売店

Museum Shop

このミュージアムショップには、一般書店には置いていない昆虫関係の専門書、美麗甲虫やチョウのポスター、採集、標本製作用具を並べ、初心者の方でも昆虫趣味を楽しめます。また虫グッズや標本、昆虫切手、インテリア額なども多種揃えてます。



図書

Library

寄贈していただいた昆虫関係の書籍は、町立「矢祭もったいない図書館」に協力していただき、図書館のデータベースに登録して、当昆虫館に分館として、閲覧、貸し出しを行ってま



支援金のお願い

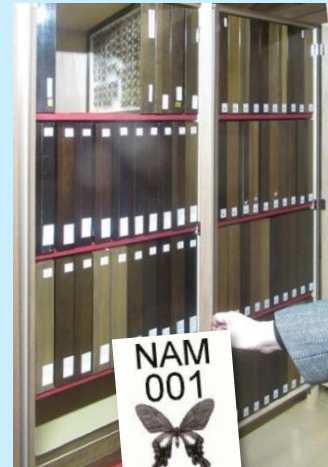


●当昆虫館は非営利の一般社団法人の民間施設で、運営は皆様からの浄財と関係者のボランティアで成り立っています。
●皆様からのご支援で何とか開館を迎えることが出来ましたが、維持費は年間約400万円かかります。今後の維持運営のためにさらなるご支援をよろしくお願いいたします。

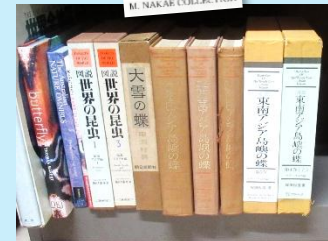


標本・書籍の受付

●昨今の公立博物館の収蔵能力の限界から、貴重な標本の受入先を思案する昆虫同好者が増えていとお聞きします。当館ではアマチュア収集家の標本の受皿として約3000箱を収納できる収蔵庫を用意しており、現在既に約250箱の標本を受け入れており、さらに約450箱の納品予約を受けております。
●納品の際にドイツ箱1個につき1万円の管理料を頂戴してま



●昆虫関係の書籍類の寄贈受入れの相談にのります。図鑑・単行本20kgにつき1万円の管理料を頂戴してま
●詳細につきましては、昆虫館迄ご連絡をお願いします



連絡先: tak.w1947@gmail.com 渡辺